

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	7	布 田 恵 美	<p>子育て支援について</p> <p>1. 現在、市内には子育て支援センター機能を持つ施設（南プラザ内子育て支援センター、東子育て支援センター）が2か所開設されており、中央部についても子育て支援センターが整備される予定である。</p> <p>(1) 現状として、利用者からはどのような声が届いているのか伺う。</p> <p>① 南プラザの利用者の声について</p> <p>② 東子育て支援センターの利用者の声について</p> <p>(2) 平成30年第2回定例会において、同僚議員の西部地区防災コミュニティセンター整備に関する一般質問の中で、「既存の西公民館・児童センターについては、西児童センターとして活用させていただき、新たに子育て支援センター機能を整備することで、西部地区における子育て拠点としていきたい」との執行部答弁があったが、そこから1年余りが経過して、どのように進んでいるのか伺う。</p> <p>① 西部地区の子育て支援拠点整備の進捗を伺う。</p> <p>② 天気を気にせず多世代で交流を楽しめる室内遊び場の設置を検討してはどうか伺う。</p>	市 長
			<p>市民歌について</p> <p>1. 平成3年10月1日に制定された市民歌「花とみどりとほほえみと」は、岩沼市の平成時代の年表にも掲載されている。</p> <p>(1) 市民歌は限られた場で演奏されたり、歌われることもあるが、広く市民に知られているとは言えない現状と感じる。せっかくの楽曲であり、岩沼市の市民憲章の流れをくむものだと思う。</p> <p>① 市民歌に対する市長の見解を伺う。</p> <p>② 市の行事、記念式典などで演奏をしたり、歌ってはどうか伺う。</p> <p>③ 学校行事の中でも、演奏や歌う機会を持ってはどうか伺う。</p> <p>(2) 市民歌の音源はカセットテープになっていると聞いているが、デジタル加工を行い、市のホームページやYouTubeに貼り付けて、市民や岩沼</p>	市 長 教育長

(続)	7	布田 恵美	市のサイトを閲覧される方が自由に視聴できるように活用してはどうか伺う。	
2	13	布田 一民	<p>第三次生涯学習推進計画について</p> <p>1. 生涯学習の理念の考え方を伺う。</p> <p>2. 第二次生涯学習推進計画の評価はどのように考えたか。</p> <p>3. 生涯学習推進計画の成果を生かした施策をどのように考えるのか。</p>	市長 教育長
3	9	須藤 功	<p>自転車駐輪場維持管理について</p> <p>1. 駐輪場の現状について伺う。</p> <p>(1) 自転車の駐輪収容は何台で、利用台数は何台か。</p> <p>(2) バイクの駐輪収容は何台で、利用台数は何台か。</p> <p>(3) 有料で駐輪している自転車の一部は雨ざらしになっている。この現状をどう思うか。</p> <p>(4) 近隣自治体の有料駐輪場は、屋根付きに自転車を預かり、有料としている。そのことについてどう思うか。</p> <p>2. 駐輪場の今後について伺う。</p> <p>(1) 平成29年度の決算では、収支がほぼ同額であった。住民サービスの観点から駐輪施設を随時改修すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 既存の施設は自転車駐輪間隔が狭く、使い勝手が悪い。間隔を広い施設に改良してはどうか。</p> <p>(3) 増設するスペースがあるので、空いているスペースに増設する計画はないか。</p>	市長
4	10	渡辺 ふさ子	<p>磁器ループの導入について</p> <p>1. 高齢化社会が進むにつれ、難聴者は約600万人とも言われ、今後も増加が予想される。難聴者は一般的に補聴器で聴力を補っているものの、騒音の多い屋外や人の集まる場所では音声を正確に聞くことが困難であり、社会参加へのバリアになっている。心と体の健康寿命を延ばすためにも、積極的に社会参加できる環境づくりが必要である。公共施設においては、様々な場面で聞こえをサポートする磁器ループ（ヒアリングループ）の導入が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. ヒアリングループの導入について</p> <p>(1) カウンター型ヒアリングループシステムを市民課、税務課、健康増進課などの窓口を設置してはどうか。</p> <p>(2) 携帯型ヒアリングループシステムを導入し、市</p>	市長 教育長

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>民への貸出しをしてはどうか。</p> <p>(3) 設置型ヒアリンググループシステムを市民会館や市民交流プラザに設置してはどうか。</p> <p>(4) 設置型ヒアリンググループシステムを西部地区コミュニティセンターの設計に取り入れてはどうか。</p>	市長 教育長
			<p>国民健康保険（国保）について</p> <p>1. 国保の課税限度額について</p> <p>(1) 国保の基礎課税額に係る課税限度額が58万円から61万円へと3万円引上げになったが、引上げに係る対象件数と税収増の見込み額を伺う。</p> <p>(2) 平成30年度の国保の補正予算の歳出では保険給付費が8,896万円減額になり、603万円が基金積立となった。課税限度額の引上げの根拠を改めて伺う。</p> <p>(3) 国保税の改正は、「岩沼市市税条例等の一部を改正する条例」の中で市民税や軽自動車税、固定資産税と並べて4件提案された中の1つで、専決処分の承認案件として提案された。平成30年度も同様にたばこ税などと並べて提案され、課税限度額が54万円から58万円へと4万円の引上げだった。国保税はいのちに関わるものです。今後は専決処分ではなく3月議会で議論できるようにすべきではないか。</p> <p>2. 財政調整基金の残高について</p> <p>(1) 平成30年度の残高の見込額を伺う。</p> <p>3. 県が公表している2019年度標準保険料率についての見解を伺う。</p> <p>4. 県のホームページでは、「実際の保険税率の賦課・徴収及び資格管理は、平成30年度の都道府県単位化後も引き続き市町村が行う業務となっており、各市町村では地域の事情等を勘案し、標準保険料率も参考に保険税率を決定することとなります。」と説明している。景気の落ち込みで暮らしもますます大変な状況であり、今後も国保税の引下げを検討していくべきではないか。</p> <p>5. 短期保険証について</p> <p>(1) 発行数を伺う。</p> <p>(2) 留め置き数を伺う。</p> <p>(3) 無保険者状態では治療の遅れによる病状悪化を招きかねない。まず、郵送すべきではないか。</p>	市長

(続)	10	渡辺 ふさ子	6. 納税相談に当たっては、生活状況の十分な聞き取りを行い、無理な分割払いを強いることのないよう、生活の再建を図る取組をすることが税の徴収の持続可能性につながる方策であると考えているが、見解を伺う。	市長
5	3	高橋 光孝	<u>8050問題について</u> 1. 8050問題の現状について伺う。 (1) 8050問題をどう捉えているのか伺う。 (2) 本市において、中高年のひきこもりについての実態調査をしたことはあるのか伺う。 (3) 実態調査をしたのであればその結果を、調査実績がなければなぜ調査をしていなかったのか伺う。 (4) 今後、どのような対応をしていくのか伺う。	市長
			<u>市職員の研修・調査について</u> 1. 市政の持続的発展のため尽力している市職員の研修・調査について伺う。 (1) 職員の研修や他自治体への調査は、年間どの程度行なっているのか伺う。 (2) 部・課によって、回数などに差があるのか伺う。 (3) 市議会常任委員会の行政調査に担当課職員が同行調査を行なうことは他自治体の先進事例を市の施策に反映させるに当たっては効果的だと思うが、今後、同行調査を行うことを考えられないか伺う。	市長
6	4	植田 美枝子	<u>幼保無償化について</u> 1. 国が示した概要について (1) 対象施設はどこか。また、対象外の施設はどこか。 (2) 対象の子供、対象外の子供はどの年齢か。 (3) 全世帯が対象となる3歳児から5歳児の世帯の所得制限はないのか。 (4) 幼稚園と保育所(園)の無償化の違いはあるのか。 (5) 保護者が負担する部分はあるのか。 (6) 無償化の費用負担は国、県、市でどのような割合か。 2. 幼保無償化に伴う当市の考えについて (1) 10月からの実施に向けて、今やるべき準備は何か。 (2) 市外の施設に預けている世帯も対象となるのか。	市長

(続)	4	植 田 美枝子	<p>(3) 市民への周知はどのようにしていくのか。</p> <p>(4) 保育士の待遇改善も不十分の中始まるが、その点も含め保育士の人材不足をどう対処するのか。</p> <p>(5) 無償化が決定して、現場も含めて問い合わせはあるのか。</p> <p>(6) 無償化の結果、入園希望者が増え、待機児童の増加になるのではと思うが、どう対処するのか。</p> <p>(7) 無償化対象外の0歳から2歳の子がいる課税世帯に市独自の支援をしてはどうか。</p> <p>(8) 有料である副食費への支援計画はないのか。</p> <p>(9) 10月から実施する本年度の当市の負担費用はどれぐらいか。また1年間の負担費用はどれほどか。</p> <p>(10) 市長会を通して、0歳児から2歳児の支援を県に要望してはどうか。</p>	市 長
			<p>窓口サービスの充実について</p> <p>1. 窓口サービスの現状と課題について</p> <p>(1) 転入、転出に伴う手続はどのように行われているのか。</p> <p>(2) 手続の窓口が各階に散らばっている現状を市はどのように考えているのか。</p> <p>(3) ライフイベント（転入・転出・結婚・死亡など）の案内に漏れがないように、番号の入った案内フローチャートを作成してはどうか。</p> <p>(4) 総合窓口を2階の市民課に設置して、案内フローチャートを渡してはどうか。</p> <p>(5) 庁舎内の案内表示を利用者の導線を意識して、番号を入れた表示にしてはどうか。</p> <p>(6) ワンストップサービスを導入している自治体が増えているのが現状だ。専門的な判断や相談が必要なものではない住所変更や戸籍の届出などはワンストップサービスの実施を検討してはどうか。</p>	市 長
7	8	酒 井 信 幸	<p>危険ブロック塀の調査等について</p> <p>1. 通学路の危険ブロック塀調査について</p> <p>(1) 平成30年第4回定例会で危険ブロック塀の質問を行ったが、その後、通学路の危険ブロック塀調査を市として行ったのか伺う。</p> <p>(2) 平成30年度に宮城県が行った小学校スクールゾーン内ブロック塀等実態調査について、仙台土木事務所と合同調査を行ったと聞いたが、いつ行ったのか伺う。</p>	市 長 教育長

(続)	8	酒 井 信 幸	<p>(3) 今回の合同調査の結果、市が行った危険ブロック塀調査件数より大幅に対象件数が多くなった理由を伺う。</p> <p>(4) 仙台土木事務所との合同調査結果を踏まえ、どのように対応したのか伺う。</p> <p>(5) 仙台土木事務所との合同調査は、小学校を中心とした半径 500m以内の区域としたが、もっと広域に調査をしなかったのか伺う。</p> <p>(6) 指定緊急避難場所、指定避難所周辺や保育所、幼稚園等も含む市域全体で危険ブロック塀調査を行うべきと思うが見解を伺う。</p> <p>2. スクールゾーン内ブロック塀等改善補助金について</p> <p>(1) これまでに補助金が申請された件数と補助金額について伺う。</p> <p>(2) スクールゾーン以外のブロック塀に対する補助金申請はあったのか伺う。</p> <p>(3) 今はスクールゾーン内の通学路に面しているブロック塀が補助金の対象となっているが、市域全体に拡大する考えはあるのか伺う。</p> <p>(4) 補助金の限度額は除去費用で最大 20 万円、設置費用で最大 10 万円の計 30 万円となっているが、限度額を引き上げる考えはあるのか伺う。</p>	市 長 教育長
8	1 1	佐 藤 一 郎	<p>健康づくりについて</p> <p>本市は「“健幸”先進都市」を宣言しているが、県では、肥満、食塩の取り過ぎ、喫煙、歩かない人が多いなど健康づくりが課題であるとしている。</p> <p>1. 肥満、運動不足対策として万歩計を配布し、誰もが参加できるウォーキングの取組を検討してはどうか伺う。</p> <p>2. 1日当たりの塩分の摂取量は、何グラムと考えているのか伺う。</p> <p>3. 減塩対策は、脳卒中、脳梗塞を起こす要因であることから、減塩指導マニュアルを作成し、地域ごとに食生活改善推進員による指導を行ってはどうか伺う。</p> <p>4. 減塩食レシピの配布をしてはどうか伺う。</p> <p>5. 小・中学校給食での減塩対策はどのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>6. 飲食店、宿泊施設などへ「減塩しましょう」「野菜をたべよう」啓発の表示板の配布を考えてはどうか</p>	市 長 教育長

(続)	1 1	佐藤 一郎	<p>か伺う。</p> <p>7. 健康寿命の延伸と少子高齢化時代を迎え、医療費増加が問題となっている。健幸先進都市として、市をあげて取り組む必要があると思うが、市長の見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p>千貫の松の活用について</p> <p>1. 地元の認可地縁団体千貫山愛護会によって、「千貫山に赤松の大木が繋り灯台役目を漁師からは、価(あたい)千貫の松と伝えられ仙台城建造の時一千貫文の大金藩に献じ伐採まぬがれたと伝わる」との説明書きのプレートをグリーンピア岩沼の隣接地に設置予定である。千貫の松は正に岩沼の名勝であると思うが見解を伺う。</p> <p>2. プレート設置場所への経路を、グリーンピア岩沼の散策コースに接続するコースとして活用してはどうか伺う。</p> <p>3. 千貫の松は、昔から船の航行目標保安林として使われた貴重な松である。その保存又は活用について、市として支援するべきではないか。</p> <p>4. 慶長の津波が千貫神社まで到達したという仙台藩に伝わる記録から、平井弥之助氏(海岸施設研究委員会)が女川原子力発電所建設時に津波の想定高を15mと主張し、東日本大震災の津波を回避したということが震災1年後に報道された。千貫の松は、「駿府記」、「貞山公治家記録」の記録にも残っている、現存する松である。市として千貫の松伝承を後世に残すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長 教育長
9	1	佐藤 剛太	<p>児童・生徒の登下校の安全について</p> <p>1. ブロック塀の対応について</p> <p>(1) 昨年度、危険ブロック塀にどのような対応を行ったのか伺う。</p> <p>(2) まだ未対応の危険ブロック塀に対しての今後の対応を伺う。</p> <p>(3) 市内小中学校の児童生徒や保護者に危険箇所を認識させるために、どのように指導を行っているのか伺う。</p> <p>2. 通学路の交通安全対策について</p> <p>(1) 今年度実施された、通学路の緊急点検について伺う。</p> <p>(2) 毎年、通学路点検を行っているが、関係機関や各部署、学校などと連携を行って危険箇所の解消</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>1</p>	<p>佐藤 剛太</p>	<p>をしているのか。</p> <p>(3) 市内の交差点などで公安委員会が管理する停止線などの表示が消えている場所が多数存在するが、道路管理者としての市の見解と今後の対応を伺う。</p> <p>3. 不審者への対応について</p> <p>(1) 犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や防犯カメラ等の防犯設備の整備支援をどのように行っていくのか伺う。</p> <p>(2) 不審者情報について、警察や関係機関と情報の共有はできているのか伺う。</p> <p>4. 岩沼市ふれあいパトロール隊について</p> <p>(1) 必要性について、本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢化やなり手不足への市としての対応を伺う。</p> <p>(3) 通学時の子どものけがに対応するため、応急処置のできる用具などを配付するべきではないか。</p> <p>(4) 今後、子供たちの登下校時の見守りを強化するため、地区やシルバー人材センターと連携して行う必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>5. 「子ども高齢者見守り中！」のステッカーについて</p> <p>(1) ステッカーの役割について、市内の児童生徒への周知はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(2) 今までにステッカーを貼ったことによる効果があったか伺う。</p> <p>6. 子ども 110 番の家について</p> <p>(1) 必要性について本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 子ども 110 番の家の役割や利用について、市内の児童生徒への指導はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(3) 今後、利用を拡大するためにどのように市として対応をしていくのか伺う。</p> <p>7. 行政と関係機関・事業者・各種団体等・市民との連携について</p> <p>(1) 市と見守りや児童生徒の安全を守るために活動を行っている関係機関・事業者・各種団体等・市民などが、これまでどのように連携を行っているのか伺う。</p> <p>(2) 市内には、「子ども高齢者見守り隊」や「子ども 110 番の家」などのステッカーや看板などがある</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	---	-------------------

(続)	1	佐藤 剛太	<p>が、各種団体が連携して、市民に広く周知されるために誰でも分かるようなマークに統一することでさらに効果を上げることができるのではないかとと思うが、見解を伺う。</p> <p>8. バス通学での登下校について</p> <p>(1) 地震発生や災害時の対応について伺う。</p> <p>(2) 不審者などの対応について伺う。</p>	市長 教育長
10	2	菊地 忍	<p><u>これからの地域交通について</u></p> <p>1. 近・現代社会の経済発展を牽引してきた自動車は、地球環境問題やエネルギー問題などに対応するため、今後10年で電気エネルギーへの未曾有の大転換を図る機運が世界中で高まっています。それに伴い、近未来の交通体系や運用方法なども根底から変革を迫られています。</p> <p>このような状況の中、地域においては高齢化や過疎化が進むことで、個々の移動手段に乏しい「交通弱者」が増加することもまた明らかであり、近年多発している高齢者ドライバーによる交通事故も社会的な問題になっています。そこで、これからの地域交通のあり方について、どのように考えているか伺います。</p> <p>(1) 平成30年度のデマンド型乗合タクシーの登録者数と稼働状況及び今後の運用についての見通しを伺う。</p> <p>(2) 平成30年度の岩沼市民バスの乗車率を伺う。</p> <p>(3) 平成30年度の免許証返納数を伺う。</p> <p>(4) 岩沼市民バス・デマンド型乗合タクシーの無料乗車証の交付状況を伺う。</p> <p>(5) 平成30年度の交通事故発生状況を伺う。</p> <p>① 人身事故又は物損事故の発生状況について</p> <p>② 年齢別の発生状況について</p> <p>③ 高齢者の事故割合及び特徴について</p> <p>(6) 高齢化に伴う今後の交通弱者数の見通しについて伺う。</p> <p>(7) グリーンスローモビリティの導入について</p> <p>高齢者の移動手段の確保や観光振興など、交通の低炭素化と併せて地域の交通課題の解決策の1つと捉えるが、見解を伺う。</p>	市長
11	5	佐藤 淳一	<p><u>エンディング（終活）支援について</u></p> <p>1. 高齢者世帯の現況と今後の推移について</p> <p>(1) 高齢者世帯の現況について</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>5</p>	<p>佐藤 淳一</p>	<p>① 本市の65歳以上の人口、65歳以上の方のみの世帯数、単身世帯数について伺う。</p> <p>② 本市の75歳以上の人口、75歳以上の方のみの世帯数、単身世帯数について伺う。</p> <p>(2) 高齢者世帯の今後の推移について</p> <p>① 今後の高齢者数、世帯数と単身世帯数の推移をどのように見込んでいるか伺う。</p> <p>(3) 超高齢社会を迎えての本市の高齢者対策(対応)について伺う。</p> <p>2. 本市のエンディング(終活)支援とその状況について</p> <p>(1) 安心して住み続けられるまちを目指している、本市のエンディング(終活)支援について</p> <p>① 高齢化率が急激に上昇を続けているが、高齢者が安心して最期を迎えるための「終活」についての見解を伺う。</p> <p>② 終活に関して、高齢者からの意見や福祉の現場からの声にはどのようなものがあるのか伺う。</p> <p>③ 本市のエンディング(終活)支援の現状について伺う。</p> <p>3. エンディング(終活)支援事業について</p> <p>(1) 最初の取組として、終活についての啓発を行い、エンディングノートの配布を行ってはどうか伺う。</p> <p>(2) ひとり暮らしの高齢者や身寄りがなく生活に余りゆとりのない高齢者向けのエンディング(終活)事業を行うべきと考えるがどうか伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>改正健康増進法と健幸先進都市のあり方について</p> <p>1. 健康増進法の一部を改正する法律(平成30年法律第78号)について、本市の所見を伺う。</p> <p>2. 公共施設等の改正法への対応について</p> <p>(1) 現況について</p> <p>① 所管する施設の現況について伺う。</p> <p>② 利用者からの意見や管理者としての現況に対する考えを伺う。</p> <p>(2) 今後の対応について</p> <p>① 所管する施設の今後の対応について伺う。</p> <p>② 市役所庁舎及び敷地における今後の対応について</p> <p>ア 庁内では今後の対応についてどのように検</p>			<p>市長 教育長</p>	

(続)	5	佐藤 淳一	<p>討しているのか。</p> <p>イ 敷地内禁煙が原則であり、原則対応すべき と考えるがどうか。</p> <p>③ 飲食店など民間施設への対応について伺う。</p>	市長 教育長
12	14	長田 忠広	<p>子育て支援について</p> <p>1. 子どもの交通安全対策について</p> <p>(1) 市内全保育所・幼稚園等の散歩コース及び小中 学校通学路の安全点検の実施状況を伺う。</p> <p>(2) 危険箇所への信号機や横断歩道設置の働きかけ の現状を伺う。</p> <p>(3) 交差点で歩行者が待機する場所にガードレール や車止めポールなどを設置してはどうか伺う。</p> <p>2. 産後ケア事業について</p> <p>(1) これまでの取組と実績を伺う。</p> <p>(2) 今後の展望を伺う。</p> <p>3. 子どもの健康対策について</p> <p>(1) 子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳まで 拡大してはどうか伺う。</p> <p>(2) 小児がん治療でワクチン抗体を失った子どもを 対象に、再接種費用の助成制度を創設してはどうか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>AED（自動体外式除細動器）の設置について</p> <p>1. コンビニエンスストアと「AED設置・受渡しに 係る協定」を結び、AED設置を推進してはどうか 伺う。</p> <p>2. 指定避難所へAEDを設置してはどうか伺う。</p>	市長
			<p>特殊詐欺への対策について</p> <p>1. 当市の特殊詐欺被害の現状を伺う。</p> <p>2. 被害を未然に防ぐための取組を伺う。</p> <p>3. 特殊詐欺被害防止のため、自動通話録音機の無償 貸与事業を創設してはどうか伺う。</p>	市長